

ますしまっご H・26 4・4

増島保育園

ご入園・ご進級おめでとうございます。

満開の桜の花のような、晴れやかな子どもたちの笑顔あふれる新年度の始まりです。今年度は未満児組32名・年少組38名・年中組48名・年長組45名で元気にスタートします。ワクワクドキドキの期待と不安がいっぱいの中で、「はじめの一歩」の始まりです。初めての環境が目新しく園内を探索して歩く子、不安で泣いたり食事ができなかったりする子……

一人ひとりのお子さんがいろいろな表情を見せていきます。在園のお子さんも大きくなったんだと一生懸命頑張っていたのですが、新入園児の泣き声で、不安な気持ちになったりするお子さんもいます。でも大丈夫。100回泣いた子はその数だけ「泣きやむ」という心をコントロールする貴重な体験をしているわけですから……

保育者と親という立場の違いはありますが、24時間ひと続きの子どもの時間を共有しながら育てていくために、この1年を、子どもたちを軸にして、保護者の方と一緒に驚いたり、感動したり、心の底から笑ったりして、一緒に喜びや悲しみを共有していけたらと思います。一人ひとりのお子さんがその子らしさを精一杯発揮し、お友だちのよさを認め合うそんな園生活を目指して、保護者の皆様と職員とがしっかりと子どもたちの両手をつないで、すこやかな体と心の発達を育ててまいりましょう。

今年1年、どうかよろしく願いいたします。

♥ ♥ ♥ 職員紹介 ♥ ♥ ♥

増島保育園			
園長	草壁 文恵		舟坂 留美子
子育て支援・主任	洞口 ひとみ	未満児 ひよこ2歳	間所 紗織
看護師	福山 泰子		吉澤 明代
事務員	岩村 多香		渡辺 麻世
年長 うさぎ組	福山 千里	ひよこ1歳	保木 知里
加配	田尻 恵美		坂口 宏美
年長 こあら組	牧野 裕也	ひよこ 0歳	稲田 尚美
加配	後藤 美記		重澤 陽子
年中 つくし組	上道 円華	未満児フリー保育	森下 和子
年中 たんぽぽ組	田近 真一	延長保育	坂本真知子
年少 もも組	角川 梨沙		田高智恵
加配	船坂 久美子	栄養士	岩田 陽子
年少 めろん組	田中 智美	調理員	蒲生 千恵美
加配 統合保育任	洞垣 明菜		田口 郁子
加配	倉坪 雅美	バス介助員	平田 真実
フリー一時保育	石坂 晴奈		

***退職された先生 ***

看護師 星合 紀美子先生

ひよこ0歳児クラス 大森 豊子先生

増島保育園の特色

～おひさま保育～ おひさま・風・土・水・木・人とのふれあい
・あいさつをする ・おてつだいをする ・はきものをそろえる

《 体づくり 》

- ☆ 園外保育(わくわく探検隊)
- ☆ 昔遊び (田高先生に飛騨の伝承遊びを習います)
- ☆ ヨガ教室 (堀之上先生にご指導いただきます)
今年度より年中さんも参加します。
- ☆ 和太鼓(ますしま太鼓)教室 (堀口先生にご指導いただきます)
- ★ 体育遊び (一年間のプログラムに添って進めていきます)
※ 子どもたちの様子をお伝えする『運動だより』も発行します。
- ☆ マラソン(園庭を走ります)
- ★ 年長組は5月より『けん玉』を始めます
- ☆ 雑巾隊(長い廊下や遊戯室をマイ雑巾で一休さん拭き)年長・中は4月より開始)
※ 年少は9月より開始

《 心づくり 》

- ☆ 絵本の読み聞かせ(セレクト図書)
園内にある絵本を担当が選んで「セレクト図書」として各クラスでバックに入れて回覧します。
バックの中には、セレクト図書の絵本と、貸し出しカードが入っています。読んだらカードに記入して園児に持たせてください。回覧は急ぎませんが、2～3日を目安に返却してください。
お家にあたり図書館で借りてきたことがある絵本かもしれませんが、クラスのみみんなに順に回していくという楽しみもあります。新しい絵本との出会いになることを願っています・・・
- ☆ 遊びのコーナー (毎日、自由に遊べるコーナー)
絵本コーナー: 年少もも組の前に設定し読み聞かせや自由に読める空間とします。図書館からも定期的に借りてきて活用します。
変身コーナー: ドレス スカート 男の子用キャラクター衣装などハンガーにかかった衣装を自分でセレクトし、変身して遊びます。
廃材コーナー: 空き箱、広告チラシを利用して好きな物を作って遊びます。
はさみ、テープ、えんぴつなど自由に使えます
- ☆ お茶っこ (森下先生に年長さんが茶道をご指導いただきます)
- ☆ 食育 (季節のクッキング・給食のおばちゃん手作りおやつ・郷土クッキング・日々の給食への興味と感謝)
- ☆ 農育 (ボランティアの方にご指導いただいで農業体験します。今年もおすそわけ野菜がご家庭に届くと思います)
- ☆ 地域の方との交流 (老人会 小学生 中学生 JAキッズぱくぱく 農協青年部 寿楽苑・和光園訪問)
- ☆ 誕生会の充実(以上児・未満児で毎月手作りおやつ)
- ☆ お手伝い (働く手で仕事をします・雑巾隊)

☆ なかよし会（全園児集会）

☆ いろんな歌を覚える（季節のうた・昔話のうた・わらべうた・英語のうた）

全園児で毎月の歌を決め歌います。（わらべ歌・英語の歌、アニメソングなど）楽しく、上手に歌えるってステキ！ということで歌の指導をします。

歌の先生『みきせんせい』

《 物づくり 》

☆ 廃材遊び(保育室や遊戯室のコーナーに廃材を準備し、いつでも遊べます)

作った物はりっぱな作品(本人にとって・・・)なので、持ちかえた時は褒めてあげて下さいね。

☆ コーナー遊び(廃材・自然物・木片等を利用した製作活動)

シャボン玉・土・泥・色水つくりなど季節に合わせた活動)

☆ ビオトープ(池)・どろんこコーナーなど広い園庭でおもいきり遊びます。

子どもたちの育ちにはとても大切な遊びです。汚れるときもありますが、ご理解ご協力をお願いします。

☆ いろんな素材で主体的に取り組む造形活動

《 命を守る訓練 》

★毎月の避難訓練、年に1回の不審者対応訓練、防火教室など命を守る訓練を実施します。

園児用防災頭巾装着し、避難するという訓練を取り入れていきます。

※ いろんなことにチャレンジして、園児や保護者の皆様にとっても心に残る思い出深い一年としていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

※ 環境汚染PM2.5にともなう注意喚起について

県が注意喚起の発表を行った場合、市も同様に防災無線等を活用し、注意情報を流す予定です。

保育園にも連絡が入るので、対応としては屋外での活動は控えて下さい。



雪も解けてようやく春！外遊びを思いっきりさせたい！という思いでいたのですが・・・どうも最近の環境汚染は、ただ事ではない雰囲気です。また、黄砂によるアレルギー（花粉症みたいな感じ）症状が出ることもあるので、☀でも屋内で過ごすこともあります。

100回泣いていいんだよ・・・

4月 どの園でも見られる「初めての集団生活」＝「お母さんと離れる生活」に慣れるまでの・・・朝の泣き別れの儀式が、今年も始まります。

職員にとっては「数ヶ月後」の予想がつくのですが・・・「初めて体験する」子どもと親にとっては、涙、涙の季節です・・・

でも、大丈夫！

100回けんかした子は 100回仲直りする「チャンス」があるように

100回転んだ子は 100回起き上がる「練習」ができます

100回泣いた子は その数だけ 「泣きやむ」という（心をコントロールする）「貴重な経験」をしているわけで 子どもにとって無駄なものひとつもなく「生活体験」の中から実に様々なものを「学び・練習」しているのです。

大切なのは その子どもの「体験」や「学び」を 大人が気づいて（大きく受け止めて）「見守る」ことや「待てる」こと！

朝の別れはつらいものです・・・ 大人から言うと（ここは保育園で あなたは園児だから ここで遊ぶのよ）

子どもから言うと（今までいつも一緒にいてくれたお母さんがいきなりいなくなる。そりゃ～もうパニックになって システムやパターンを「理解」できるのに 数日かかる・・・）

（必ずお迎えに来てくれることが「理解」できれば 子どもは泣かずに「バイバイ」できます）ただ 個人差があるだけ・・・（どうか焦らないで）

ところで その「理解」ですが・・・

「知っている」ということと「わかっている」ということは 少し違います

「知る」という（知識）を・・・「わかる」という（知恵）（獲得・自分のモノにする～）に変えるには「繰り返し～体験」する「時間」が必要です。

新学期です いろんなことがあります・・・

でも どうか焦らないでください。

ほかの子どもと比べないでください。

ひとり ひとり その子のペースで その子の「心が納得」したら 次へいくのです

「説得」では ダメなんです・・・

心が「納得」しないと 子どもは前へは 進みません。

子どもを信じて・・・ゆったり～大きな気持ちで「心」を受け止めてあげてください。

ひとつ・ひとつ前へ進めば 山登りは いつか頂上に着き みんなの「笑顔」が必ず待っています。

～お知らせ事項～

1、保育時間について

4月は新入園児のならし保育がありますので、4月の予定表でご確認下さい。

- ★ 年少児は家庭訪問を4月に予定しています。
- ★ 希望懇談：10月(年中) 8月(年長) 12月(年少)に予定しています。
- ※ 朝9時までには登園しましょう。その時間より遅れる時は連絡して下さい。
- ※ 遅刻・欠席連絡も9時までをお願いします。

2、登降園の送迎は、保護者の責任となっています。

自家用車を利用される方は、路上駐車をしないように、決まった場所に整然と駐車してください。担任はお迎えの方を確認してからお子さんを帰します。お子さんは担任と握手してから帰ります。また、危険ですので、通園カバンをかけたまま遊具では遊ばせないように気をつけて下さい。

通園バスを利用している方は、園との連絡はバスノートをご活用下さい。

※ 今年度は駐車場の白線を引き直します。

3、土曜日保育について

- ・ 毎回、希望保育となっています。土曜保育を希望される方は、職員玄関よりお入り下さい。また、午後からも保育を希望される方はお手数ですが、お弁当・水筒をご持参ください。

4、服装について

- ・ 運動、排泄がしやすい服装を心がけていただくとありがたいです。(つりズボンやフード付きの洋服はなるべく避けてください)
- ・ 園児服には名札(左胸)をしっかり付けて下さい。
- ・ 体操服は主に行事の時に着用しますが、普段にも着用していただいてもいいです。
- ・ 衣類など全ての物に必ず名前を記入して下さい。
- ・ できるだけ自分で着脱しやすいもの 靴なども履きやすく遊びやすいものがいいですね。

5、給食について

- ・ 給食のコップ・歯ブラシは毎日洗って清潔な袋に入れて持たせてください。
- ・ 環境が変わって一時的に食欲にも変化が出るかもしれませんが、無理をせずお腹の空く活動を多く取り入れていきたいと思えます。

6、飛騨市保育園共通の感染基準の用紙を配布しました。感染の疑いのあるときは、医師の許可を得てから登園するようにお願いします。

7、園からのお知らせについて

- ・ 月 1 回（園日より ますしまっこ）（年次日より）
- ・ 週 1 回（ますしまっこメール） 随時（すやすや日より） 随時（運動日より）
- ・ その他にも配布文書がありますので必ず目を通していただき把握していただきますようお願いします。
- ・ 通園カバンを毎日点検し、園からの連絡の有無を確かめてください。

8、園での投薬は原則として出来ないことになっていますが、どうしても必要な場合は「薬の投薬依頼書」に記入していただきます。1枚配布しますので、コピーして使用して下さるようお願いいたします。

9、クラス名簿（緊急連絡網含む）を後日配布させていただきますが、個人情報の関係で記載を希望されない方は、8日（火）までに担任まで申し出てください。

10、緊急連絡先などについて

- ・ 緊急連絡先・かかりつけ病院調べの用紙を配布しますので、記入して8日（火）までに保育園に提出して下さい。

11、共済掛金について

- ・ お子さんの災害に対する共済掛金に関する書類を配布いたしますので、よくご覧の上、提出して下さい。
別途（キッズガード保険用紙もありますので希望される方は提出して下さい）

12、園児服のポケットにはんかちとティッシュを入れて下さい。

ティッシュはポケットから落ちやすいため、布製のケースに入れて持たせてください。
物を大切にすることからも必ず名前を記入して下さい。

13、名札にシールを貼ると名前が見にくくなるので、貼らないようお願いします。

かばんに付けるキーホルダーは引っかかる心配がありますので、大きいものは避けていただき
1個くらいにして下さい。

*長時間・延長保育(am7:30~8:00 pm4:30以降)を希望される方は、**長時間保育申請書**の提出
が必要です。各担任までお知らせ下さい。(記入例用紙参考)

7:30~8:00までに登園される方は、お子さんを安全にお預かりするため、年少の集合玄関よりお入り
ください。8時まで年少もも組で保育します。未満児さんは正面玄関よりお入りいただき
年少もも組で8時まで過ごします。8時以降に各クラスに入ります。

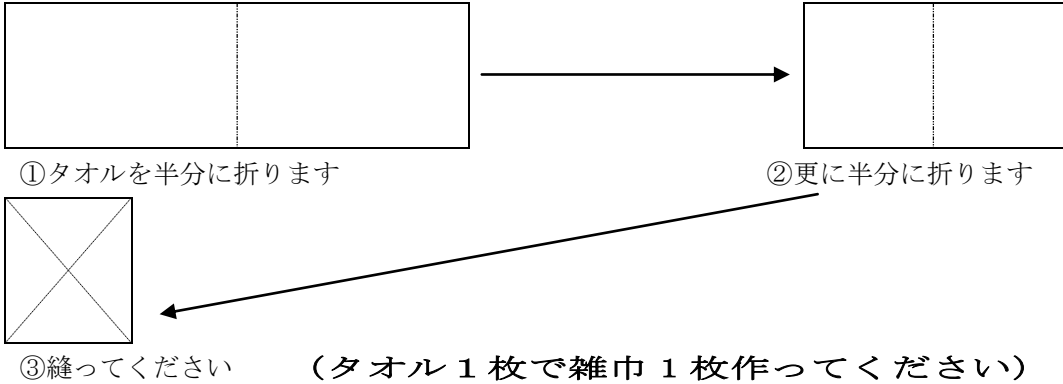
16:30以降のお迎えは職員玄関よりお入り下さい。

未満児室(ひよこ組)が長時間保育室となります。

※3月中に申請書を提出されている方はよろしいです。

～お願い～

- * お忙しいところまことに申し訳ありませんが、図のように雑巾を作っていただきたいのでご協力お願いします。
(台拭き用なので**新しい・薄めのタオル**をお願いします)
スーパーの買い物袋 2 枚(都合のつく方のみで結構です)と新品のタオル1枚もお願いします。
4月15日までに担任に提出して下さるようお願いいたします。



～お知らせ～

☆ 下記のように集金袋にて集金させていただきますのでお願いします。

誕生写真代	全園児	¥60
共済掛金	全園児	¥210
出席ノート代	年中・長児	¥360
バスバッジ代	新規バス利用児	¥115

《食育たより》

☆ おいしい記憶のたねをまこう …… 食育のススメ ……

「食育ってなんだろう」

社会環境の変化に伴い、私たちの生活は便利になりました。反面、生活リズムの乱れから、食事のリズムやバランスの乱れ、さらに食の乱れと不安定な心との関連も指摘されています。

私たちが、健康で生き生きと長生きしながら暮らすためには、「食」に無関心ではいけない時代になりました。

誰もが自ら健康管理のできる適切な判断能力を身につけ、自己健康管理のできる人を育てる食育が始まっています。これからの時代を担っていく子どもたちの「生きる力」となる「食育」を、これから1年、一緒に考え園でもいろんな方法で実践していきたいと思います。

～子どもたちに身につけてほしい「5つの能力」～

1、食べ物を選ぶ能力

元気に過ごすためにはバランスよく食べることが大切です。そのバランスを子どもが理解し、自分で考えて適切にたべものを選べる能力。

2、元気な体がわかる能力

子どもにわかりにくく表現しづらい自分の体を、便を通して判断し、健康な便はバランスのとれた食事からということを知り、食べたもので体調を整えることができる能力。

3、料理をする能力

毎日の生活の中で、献立を考えたり、食材を選んだり、実際に料理したり。食事ができるまでの過程を楽しむことが「料理する能力」へつながる。

4、食べ物の育ちを知る能力

どんな食べ物がよいのかを理解するには食べ物の育ちを知ることが必要です。自分でも栽培してみることなどで、安全な食べ物は何かということに関心を持つようになります。

5、味がわかる能力

素材そのものの味がわかる能力も必要です。子どものときからできるだけ化学調味料に頼らない本物のだしに親しむことで、鋭敏で感性豊かな味覚が育ちます。

※ 忙しい毎日の中ではどんなこともあるので、記載した内容はあくまでも参考として捉えて下さい。忙しい朝に、かあちゃんやばあちゃんが握ってくれたおにぎり心と体は満たされますね…